

事務事業名		水洗化普及事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業						
政策体系	政策名	0:2: 自然豊かな環境の保全と創造		事業期間		予算科目						
	施策名	0:5: 環境の保全と共生										
	基本事業名	0:2: 港湾・河川環境の保全		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成7 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度～年度 全体計画欄の総投入量を記入		13	01	01	01	02		
根拠法令		下水道法、地方自治法、市条例・規則		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度～年度 全体計画欄の総投入量を記入								
所属	部課名	都市整備部 下水道事業所										
	係名	普及係	電話 0192-27-3111 内線 201									
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ)						
<p>(水洗化改造資金融資あっせん利子補給事業) 市民が借りた下水道接続工事費の借入金のうち利息分を補給する事業 A、申請受付 B、内容審査 C、書類作成、文書交付 D、金融機関の融資決定後利息計算 E、金融機関から利息の請求(年2回) F、請求額の審査 G、支払い(年2回) 事業費は市民が借入れた改造資金の利子補填に使われている。(水洗化普及啓発活動事業) 産業祭りで下水道ブースを設置し、下水道の存在意義をクイズを用いて来場者に周知する。 A、会場設営準備 B、会場設営 C、来場者対応 D、会場撤去 事業費は会場設営資材やクイズの景品購入費に使われている。(水洗化普及広報事業) 広報おふなどにて供用開始区域の図面を掲載したり、早めに下水道を使用するように伝える広報記事を掲載する事業 A、広報係より昨年実績について問い合わせがある B、前年度の記事を参考に新たな使用可能地区が記載された図面と、記事原稿を作成する C、広報係に原稿をおくる D、掲載される 事業費は特にならない(私道地上権設定事務) 道路用の私有地に地上権を設定し下水道本管を設置し利用者を増やす。 A、申請書受付 B、審査 C、所有者と契約 D、必要な書類準備 E、登記所へ地上権設定登記嘱託 F、所有者、申請者へ完了の通知 事業費は特にならない(排水設備工事審査検査) 新たに排水設備を設置し下水道に接続する際の工事内容の審査、検査 A工事申請受付、B必要書類確認、C工事内容審査必要なら改善指示、D確認通知、E工事検査必要なら改善指示、F簿冊へ綴る 事業費なし(排水設備工事指定店制度管理) 排水設備工事指定店の許可事務 A新規指定店、又は継続申し込み受付、B書類審査、C指定店証交付、事業費なし</p>						総投入量(千円)	事業費	国庫支出金				
							事業費	都道府県支出金				
							事業費	地方債				
							事業費	その他				
							事業費	一般財源				
							事業費	事業費計(A)				0
人件費	正規職員従事人数											
人件費	延べ業務時間											
人件費	人件費計(B)				0							
						トータルコスト(A)+(B)				0		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
融資あっせん利子補給 広報への記事掲載 産業祭りでパンフレットの配布 私道への地上権設定 説明会の開催 供用開始区域内の未水洗化家屋の抽出 排水設備工事審査検査 排水設備工事指定店管理		ア	未水洗化人口
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	排水設備工事件数
前年度と同様		ウ	説明会開催回数
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
生活、事業用汚水を側溝、河川、最後は港湾に放流する自然人、法人(家屋、施設)		名称	
		単位	
		カ	未水洗化人口
		キ	排水設備工事件数
		ク	供用開始地区整備面積
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
水洗化率(下水道接続率)を向上させることによって自然人、法人に汚水を公共水域へ流させない。		名称	
		単位	
		サ	水洗化率 = 水洗化人口 / 対象人口 × 100
		シ	改造資金融資斡旋件数
		ス	排水設備工事件数
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
都市の健全な発達と 公衆衛生の向上、大船渡湾内の水質の保全が図られる。			

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	年度							
			17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(目標)	22年度(目標)		
事業費	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	689	785						
	一般財源	千円			1,141	942	1,111	1,111		
	事業費計(A)	千円	689	785	1,141	942	1,111	1,111		
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	2	2	2	2		
	延べ業務時間	時間	50	50	534	534	534	534		
人件費	人件費計(B)	千円	200	200	2,136	2,136	2,136	2,136		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	889	985	3,277	3,078	3,247	3,247		
活動指標	ア	人	3,377	3,497	3,681	3,899	4,597	4,897		
	イ	件	211	194	190	200	200	200		
	ウ	回	4	4	4	12	8	8		
対象指標	カ	人	3,377	3,497	3,681	3,899	4,597	4,897		
	キ	件	211	194	190	173	200	200		
	ク	ha	242.20	260.50	298.20	327	360	390		
成果指標	サ	%	60.1	61.0	62.07	65.5	70.0	75.0		
	シ	件	25	21	14	13	35	40		
	ス	件	211	194	190	173	200	200		

事務事業ID	0696	事務事業名	水洗化普及事業
--------	------	-------	---------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 大船渡湾の水質の悪化防止と 市内の公衆衛生の向上のため平成6年より順次、下水道を供用開始しており、市民にその下水道施設を利用していただくため。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 下水道法第10条、同法11条の3により、下水道施設が利用可能な地区に住む者は、原則全員下水道に接続しなくてはならないこととなっている。違反した場合の罰則も存在するが、下水道事業に対する理解が得られず、罰則適用していないため接続は徹底されていない、また経済的理由で接続できない人もいる。接続工事の資金借入れに対し利子補給している。下水道事業は市の負担はもちろん市民の負担も大きいため経済的に余裕がない人は繋がない、繋げないといった重い付け廻りの状態である。自治体には下水道法11条の3第5項前段において融資あっせんについても努力することが述べられており、また後段では私道への下水道整備を行う努力義務が謳われている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 下水道審議会で経済的援助について利子補給ばかりではなく、直接工事費補助を考えたかどうかという意見がある。水洗化は住民負担が大きいので水洗化しないという市民がいる。産業祭りの下水道クイズは景品のせいが満員御礼の大盛況である。私道に面した住民のうち一部希望者からは熱烈に下水道接続の要望がある。	

2. 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] → 利子補給は経済的負担の軽減となり比較的裕福な市民の水洗化率の向上に結びつく一方で貧困層は融資を受けられない、産業祭りの啓発活動は好評であるが、広報おふふなどへの記事掲載を含めて水洗化率向上に結びついているか未知数である。私道地上権設定は私有地道路に面した家庭にとっては水洗化へ有効な手段であるが絶対数が少なく影響は少ない。適正な排水設備工事を行うために必要である 適正な排水設備工事を行うために必要である。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] → 莫大な整備費を投じた下水道に多くの人が接続してくれないと 大船渡湾の水質が保全できない。汲み取り便所からのハエ、排水の側溝への直接排水により公衆衛生上問題がある。下水道使用料が伸び悩み下水道経営を圧迫する。以上の理由から、水洗化率の向上は下水道事業の至上命題である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] → 戸建住宅、集合住宅、公民館等が対象者。営利を目的とした事業所は除くのが適切であるから妥当 産業祭り来場者 会場内で未接続者のみを選択するのが困難なので現状のままでよしとする。市内全世帯を対象としている 供用開始区域内で未接続の者を抽出して、広報活動を行うことは可能。私道に面している住民のうち希望する者のみを対象としている 対象者=希望者であり適切。排水設備を設置するものしか対照としない。排水設備工事指定店しか対照としない
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] → 向上余地：下水道に接続していない世帯はあるので理論的には向上余地はある。目標：岩手県の下水環境課による県内の水洗化率(汚水処理)は8割だが、大船渡市は供用開始区域内で5割7分程度で目標に達していない。原因：経済的困難、下水道事業への理解不足(水洗便所になるのが目標だと勘違いしている)など。排水設備工事の検査は検査自体は15～30分かかからないが、車での移動時間が多い。それを短縮できる可能性がある。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] → を止めると、設備工事費用の負担増に繋がり、水洗化率向上の阻害要因となる。 を止めると、市民に直接対面で下水道事業についての説明を行える数少ないチャンスが消失することとなる。それが原因で水洗化率が悪化するかは不明 を止めると、簡易手軽に行える広報活動手段が消失することとなる。それが原因で水洗化率が悪化するかは不明 を止めると落穂ひろいのような事務であるが確実に水洗化されるはずの世帯が減少する。下水道施設の適正な維持管理が不可能となる。下水道施設の適正な維持管理が不可能になる可能性が大きい。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (理由) → (具体的な手段、事務事業) 頻度の高い住民説明会、計画段階から工事実施段階、供用開始前後にかけて頻繁に住民説明会を行い住民の理解と協力を得る努力をする。 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる (理由) → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない (理由) → 下水道と集落排水、合併浄化槽それぞれの事業を総称して汚水処理事業と呼ばれるが、すべて下水道事業所の事務所掌となっている <input type="checkbox"/> 他に手段がない (理由) →
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] → について下水道利用可能な地域が拡大していくため減少させることはできない 20万円程度の予算であるが、前年度に使ったものの使い直しなど削減努力はしている。これ以上削減すると事業自体を行えない可能性がある。 広報掲載は事業費なし 私道地上権設定事務は事業費なし 事業費なし 事業費なし
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] → は、排水設備工事確認申請と同時進行する事務であり、単純に水洗化率が上がっていくと事務量は増える。 産業祭りは一年に一回2日間だけであり、来客数も多く削減余地は少ない。 前年同時期の記事を若干手直して掲載するだけなので削減余地は少ない。 土地登記事務は煩雑で正確さを求められ時間がかかる。大船渡市を権利者として地上権を設定するものであるから公正である。 法で定められた工事の検査審査業務のため外部委託できない。 許認可制度であるため外部委託できない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] → 下水道利用可能な一般住宅や集合住宅では、制度を利用することは可能であり、公平である。 祭りには誰でも来場することができ、下水道プースを見学クイズに参加できることから公平である。 広報おふふなどは市内全世帯に配布されていることから公平である。 は登記にかかる事務全般を行っているもので公道に面している人々を手をかけているが、大船渡市を権利者として地上権を設定するものであるから公正である。 工事内容の適正を計るための審査検査なので公平である。 工事の適正を計るためであり、公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>水洗化率向上は下水道事業の至上命題であり、長期的な観点から下水道事業全体の中でも重点的に行わなければならない事業である。しかし、下水道施設整備、受益者負担金徴収や排水設備工事検査など短期に結果を求められる事業に追われて十分に行えなかった。また、全国的にも水洗化率向上に効率的で有効な手法がないため、取り組みづらいついものがある。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>地道で手間のかかる、住民説明会や家庭訪問を丹念に繰り返し行うほかないと思われる。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>市民がなぜ下水道事業を行っているのか理解していない面が強いと思われる。けて裕福な家庭を水洗トイレにするためではなく大船渡湾の水質の保全、すなわち人が集まりすぎて悪化した環境を改善させるのが目的だということを地道に啓発していく必要がある。それには当然と、モノ、カネ、時間が必要とってくる。</p>																						

(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	下水道事業所長	
-------	---------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>		<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>平成17年度より漁業集落排水施設整備事業においても本事業が適用され、湾内の環境保全に寄与している。三陸地域でも適用となることから、今後の事業PRが事業推進を図るうえで必要となっている。</p>																																
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																
		コスト																																
		削減	維持	増加																														
成果	向上																																	
	維持			×																														
	低下		×	×																														
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>排水設備工事と合わせて高齢者、障害者にやさしいバリアフリーへの改築も考えられることから快適で安全、安心が図られる。今後、融資斡旋、利子補給制度と組み合わせた新制度も視野に入れることも必要と考えられる。</p>																																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
